



FOR PARTICIPATORY DEMOCRACY

どまい!

YOSHIHIDE ASANOME PARLIAMENTARY PAPERS

上尾市議会議員

あさのめ義英 議会報告

【1990年5月】

〒362 上尾市原市3335

☎723-0655

「がんばれ! がんばれ!」

だれかが、どこかで、 きっと、応援している。

上尾市内の小学校(22校)の卒業生三、〇三八名、

中学校(11校)の卒業生二、六〇六名、

高校(6校)の卒業生二、八三〇名、

それぞれが、緊張の中

新しい世界に飛び出している。

今は新生活に慣れたところだろうか。

新しいクラス、新しい学校、新しい会社、

新しい出会い、新しいスタート、新しい自分、

過去と未来を結ぶ春が、やってきた。

苦しいことがあつてくだけそうになつたら、

思い出してほしい。

だれかが、どこかで、きっと応援してくれて

いることを。

胸の中を夢でいっぱいにして、ダッシュ。

春スタートだ。



卒業生へのいじりば

(原市南小卒業式で)

ご紹介を頂きました浅野日でございます。晴れがましい原市南小学校の卒業式にお招きを頂きましてありがとうございます。ありがとうございました。

議会では、みなさんが社会の授業に使った地図、理科の授業に使ったフラスコ、ピーカーなど、多くの教材、教具、設備、また施設の充実のための子算の投入のために努力しています。しかし、今日のみなさんの立派な姿をみると、私たちは、一体何ができたのかなあ、という気持ち

ちで一杯です。

みなさんはご両親や先生方にたくさんのお話を教わって頂きました。何が正しくて、何が単法なことか、人が困っていたらどうしたらよいか、人が努力することの大切さ。友情を守ることの大切さ。

そういう形にはすることができないけれど、本当に大切なこと。そういうものに比べて議会のしてきたことは負けてしまっな、そんなことを思いました。

さて、はなむけの言葉を一つだけおくりませう。

それは「ほほえみを忘れるな」ということです。間もなくやってくる中学校生活、そしてそれに続く長い人生。必ず何回かみなさんのほほえみ、きれいな笑顔が必要になる時がやってきます。

困っている人はみなさんのほほえみにとだけ救われるか。また自分が苦しんでいる時、ほほえめばとだけ苦しみが少なくなるかしれません。



古紙トーン
木20本



じかーちゃん

四月には中学生、堂々たるみなさんの成長と活躍を心から祈っています。最後に愛情を注がれ、ここまで育てにいられたお父様、お母様、ご苦労様でございます。厳しくやさしい。ありがとうございました。がんばって下さい。

古紙は、すでにパルプ化工程を通った原料です。木材から紙を作る場合に比べて、古紙から紙を再生すれば、電力や重油のエネルギー消費量は約半分です。



古紙トーンは、木20本分のパルプに相当します。まさに古紙は街の森林資源といえます。



上尾市 平成2年度 予算

予算成立のため、あさのめ満身の努力!!

約560億円を多数で可決

一般会計約364億、特別会計約154億、企業会計約41億。

あさのめ義英は、平成2年度予算について、所属会派である新政クラブを代表して、下のような賛成討論をおこない、予算成立に向けて強く発言しました。

音のきこえにくい子どもたちのための学級設立は、隣接の大宮市においてすでに21年も前に行われており、上尾市にとってはやや遅きの感もあるが、今までなおざりにされていた、難聴児教育の充実という目的を新市長になり二年目に完遂されたことを高く評価したい。

経済的資力の事情で進学進級の夢を断念することのないようにと「奨学金貸付金制度」を創設しようとする試みは、教育の機会をすべての子どもたちに与えるといった「憲法」「教育基本法」の理念を支えるあたにかみのある施策であると考えられる。

中学校英語教育の充実のため、AETを2名とする外国人青年英語指導助手招致事業への予算の投入は、わが国、国際化時代突入といった事態に機敏に対応しようとしたものとして、極めて

好ましいと考えられる。

また「花のある快適な環境づくり推進事業」については、市内全小中学校を花でいっぱいにしてしようとするものであり、子どもたちに花を愛する心、花を育むよろこびを知る心を育成する両期的施策と認識され高く評価したい。

市社会福祉協議会に対する4299万円もの補助金投入は、高齢者社会に対応する等の目的でボランティアの育成を早急に図るため必要かつ当然なる措置であると考えられる。

また、市役所から上尾警察署までの間のR17号に点字ブロックを敷設しようとする事業は、福祉まちづくりの一環として、障害をもった市民にとって朗報であると思われる。

「斎場使用料、補助金の創設」については、葬祭センター建設が実現するまでの期間、上尾市の行くことができ

る葬祭事業として、新しい視点をもった斬新な施策と位置付けたい。

革新から保守に市政の担い手が変われば福祉、教育が著しく後退すると声高に叫ばれた現象もあつたが見えないところ、光を与える、低いところをおしあげるといった弱者のための新施策多く、すべての市民が平等に相寄り営む社会の実現のために、荒井市長以下市当局は、努力を注いだことが感じられるとともに、公約を着実に政策反映しているといった点も含めて高く評価したい。

いずれにしても、20万都市に限り無く接近している上尾市にとり「住民福祉の向上」「生活環境の整備」「産業の振興」「教育文化の向上」等の行政需要に対応した予算編成が前向きに行なわれていくと考えられる。これから埼玉県中核都市として、力強く前進していく上尾市にとって、極めて望ましい予算と確認され、上尾市長荒井松司以下上尾市執行部が総力をあげて策定した一般会計予算364億3200万円について、新政クラブは賛意を示したい。

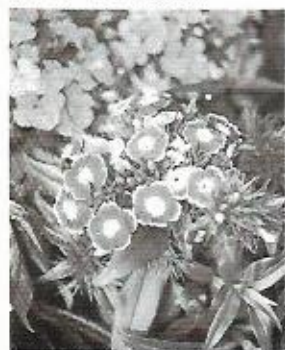
以上



英語指導助手を1名から2名に増員



目の不自由な方のために点字ブロックを敷設。



市内小中学校に花のある環境づくり



心のキャッチボールで子どもを育てる

▼先生は一人で生徒も一人だった。先生は「ポスト、ポスト」とポストの絵を見せながら、ゆつくりことばを繰り返した。次に「ポスト、ポスト」とポストの絵を見せながら、やはりゆつくり話しかけた。「それじゃね、ポストはどっちかな？」先生は二枚の絵を示しながらたずねた。かわいらしい女の子は首をかしげた。「ポスト、ポスト」と先生は再び「いいいに語りかけた。いや訴えかけた。女の子は少しまゆを動かして、小さな指でポストの方をさした▼大宮南小学校にある聴覚、言語障害児のための「ことばの教室」に、私は知人の藤本孝男弁護士とともに出かけ、授業を参観させていただいた。花のようにきれいに笑う女の子だったが、耳には補聴器がかけられていた。その後、先生は口びるの形で発音を理解させようと、女の子の指を自分の口元に当てて「ポスト、

ポスト」と何度も教えた▼音がきこえにくく生まれるということは、余りにも苛酷な運命であろう。それはことばを獲得する窓口を大変狭いものにしてしまっし、ともなうて生活習慣も、社会性も、人格も、豊かに花開くことが阻害されるおそれがある。けれども、そうした障害があっても、子どもが人間として、真つすぐ伸びていくことの可能性は、その子を取りまくものとの心のキャッチボールで、切り開かれていくことは言うまでもない▼隣接の大宮市ではもう23年も前から、こうした教育のための血ののじむような努力が続けられている。関係者からは「余りに遅かった」との声が強かったが、私の要求もあり、上尾市でも4月1日から「ことばの教室」がスタートした。偏見や心配をはね飛ばし、好奇心満ちあふれ、体のすべてを使って自立しようとする子どもたちが上尾でも元気に育つはずだ。

Will

英義目野浅

浅野英義は、大宮市ではもう23年も前から、こうした教育のための血ののじむような努力が続けられている。関係者からは「余りに遅かった」との声が強かったが、私の要求もあり、上尾市でも4月1日から「ことばの教室」がスタートした。偏見や心配をはね飛ばし、好奇心満ちあふれ、体のすべてを使って自立しようとする子どもたちが上尾でも元気に育つはずだ。

●■募集します！▲◆

あさのめ義英・議会報告『どんまい！』も次号で第20号となります。これを記念して、『どんまい！』のロゴを新しいものにしたいと思います。

大きさは原寸、色は黒、カタカナ、ひらがな、アルファベットいずれでも結構です。ドンドンお送り下さい。採用の方には謝礼を差し上げます。

宛先 〒362 上尾市原市3335 あさのめ義英 後援会 ロゴ係
(住所・氏名を明記のこと)



編集後記

電話をさがしてセブンイレブンに飛びこみ「あのーお電話ありますか」と聞いたら、「おでんは冬だけですよ」と言われたとのカンチガイがあるそう。それをきいて思い出したが「赤い靴はいてた女の子、異人さんに連れられていーっっちゃったあー」のあの曲を「いいジイさんに連れられて…」と長い間カンチガイしていた友人が私にはいる。

そうそう議員さんの中には自分の片書きを「上尾市議会議員」じゃなくて「上尾市役所人事部長」とカンチガイして、人事をギンギンにいじくり回す人がいるらしい。おまけに議長でもないのに議長車を乗り回してイイ気になっているそう。チャウセスク以上のパッパラーなノ一天気でビッグなカンチガイと私は思います。そいじや、今度は8月だ。(田中)

「より一層のご支援を！」

後援会々員を募集中です。若い力で疾走するあさのめ義英へのお力添えを心からお願ひ申し上げます。(口座名「あさのめ義英後援会」郵便振替口座「東京7-355-98」会費年間一口千円)

あさのめ義英後援会